

平成29年度 職員提案（第2次）概要

1. 募集期間

第2次募集 平成29年7月28日 ～ 9月29日

○テーマ提案

栗東駅KIOSKの有効活用について

○施策・政策提案

市の政策・施策に関するもの（ただし、自らの業務を除く）

○事務改善提案

市の行政事務の改善に関するもの

○アイデア提案

市民サービスの向上に関するもの

2. 提案件数・内訳

・テーマ提案	3件
・施策・政策提案	0件
・事務改善提案	0件
・アイデア提案	4件
合計	7件

3. 提案の審査等

◆平成29年11月1日（水）

職員提案検討推進委員会（市民政策部政策監・総務課長・財政課長・教育総務課長で構成）において審査を行った。

・テーマ提案	実施3件	否実施0件
・アイデア提案	実施2件	否実施2件
合計	実施5件	否実施2件

4. これまでの経過および今後の予定

平成29年11月1日（水）	職員提案検討推進委員会にて審査
12月上旬	市長及び提案者に結果報告
12月20日（水）	総合調整会議に報告
12月下旬	結果を職員に公開

平成29年度職員提案（第2次）審査結果一覧

全体提案件数：7件 実施件数：5件 否実施件数：2件

【テーマ提案】

平成29年12月20日
総合調整会議資料

職員提案検討推進委員会の意見		審査結果
29-3 職員証にくりちゃんのロゴマークを入れ、栗東市をPRする 〈現状及び問題点〉 職員証の顔写真は平成13年度に撮影されたものであり、現在の容姿と大きく変わっている者も多い。また、青赤緑の栗東市シンボルマークが入っているが、その他に市章、くりちゃんなどもあり一貫性がない。 〈改善案〉 職員証を更新するにあたり、栗東市シンボルマークをくりちゃんロゴマークに変更し、誰からも愛されるマスコミキャラクターを浸透させる。	<p>職員提案検討推進委員会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の職員証のマークを変更すること自体に問題がなければ対応できる。 くりちゃんのシールを現在の職員証に貼ることも一つの方法である。 栗東市のマークは数種類存在するので、1種類に統一するきっかけにもなる。 	<p>審査結果</p> <p>〈実施審査〉 実施</p> <p>〈検討・推進セッション〉 総務部総務課</p> <p>〈提案者名〉 西村 滋城</p>
29-4 各課Twitterによる情報発信 〈現状及び問題点〉 市役所各課からの市民サービス情報が迅速に伝わらない。市公式HPやFBは決裁過程や投稿手続きに時間がかかってしまう。 〈改善案〉 140文字制限ではあるが手軽に情報発信することができるTwitterアカウントを各課で取得し、所属長の判断でどんどんツイートしていく。	<p>職員提案検討推進委員会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報発信にSNSを利用する部署はある程度限られる。 決裁区分を所属長ままに簡略化してまで迅速に発信すべき情報は少ないのでは。 現在、市ホームページへの掲載は部長決裁となっている。それだけ市が発信する内容は重要ということであり、所属長の判断だけで投稿するとリスクが伴う。 ツイッターでは、誹謗中傷や差別発言などの無責任なコメントが多数寄せられて「炎上」する事態がよく発生している。管理するSNSページを増やすと、そのようなコメントを監視する事務まで増えるほか、炎上する事態を生む可能性が高まるのではないかと懸念する。 まずは、現行のフェイスブックの運用と今回の提案主旨を照らし合わせてみて、ツイッターの利点をフェイスブックで補えないのか検討することが先決である。 	<p>審査結果</p> <p>〈実施審査〉 否実施</p> <p>〈検討・推進セッション〉 ー</p> <p>〈提案者名〉 西村 滋城</p>

提案内容	職員提案検討推進委員会の意見	審査結果
<p>29-5</p> <p>職員証の写真を似顔絵に変更し、市民対応のやさしさ向上と話題性を高める</p> <p>〈現状及び問題点〉 職員証の顔写真は住民目線から見ても、非常に堅く、冷たく感じてしまう。</p> <p>〈改善案〉 職員証の顔写真を似顔絵に変更する。</p>	<p>職員提案検討推進委員会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員証は身分を証明するものであり、似顔絵を使うべきではない。 ・名刺に使用すればPRになる。 ・総務課では、現在の顔写真の更新を検討している。 	<p>〈実施審査〉 否実施</p> <p>〈検討・推進セクション〉 ー</p> <p>〈提案者名〉 西村 滋城</p>
<p>29-6</p> <p>部署や職種関係なく知識や技能を学べる「自主研究会」をつくる</p> <p>〈現状及び問題点〉 組織は人であると思われ、OJTやOFFJTで人材を育成するというが、萎縮してしまったり、遠慮してしまったりで、なかなかうまく機能しない。学ぶ機会や学び方がわからないというものが実情である。自己啓発やスキルアップは個人の裁量に委ねられてしまっている。</p> <p>〈改善案〉 栗東市の職員も30代、40代、50代と年齢を重ねるごとに経験を積み、さまざまな知識や技能を持っている職員が多い。そこで、職員による自主研究会をつくり、テーマごと（17：30～18：00程度開催し、部署や職種関係なく学べる（教えていただく）機会をつくる。内容は、税、財政、まちづくり、高齢者福祉、保険、年金、馬事業などあらゆるものをテーマにリラックスした状態でミーティングができる場とする。</p>	<p>職員提案検討推進委員会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主研究会は今ままでにも開催されており、制度としては既に存在している。 ・今後も積極的に開催してもらったための環境整備が必要であり、総務課から会議室や電気の使用を認める旨を周知するとよい。支援制度がある場合も同様。 	<p>〈実施審査〉 実施</p> <p>〈検討・推進セクション〉 総務部総務課</p> <p>〈提案者名〉 西村 滋城</p>

提案内容	職員提案検討推進委員会の意見	審査結果
<p>29-7</p> <p>JR栗東駅KIOSK跡地の活用について(馬のまちをPR)</p> <p>＜現状及び問題点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市は、「馬のまち」として馬事業を企画・推進しているが、トレセンがあるという高い知名度の一方で、市民や来訪者が馬を身近に感じる機会や場所が少ない。 ・馬に親しむ日、トレセンの施設見学、栗東ステークス等のイベントの認知度が低いと感じる。 ・本市の玄関口のひとつである栗東駅では、「馬のまち」に関するPRが行われていない。 <p>＜改善案＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉鎖状態となっている栗東駅のKIOSK跡地を活用し、競走馬の道具やトレセンの歴史を展示するなど、「馬のまち」をPRする。 案①：トレセンや名馬の写真、トレセンの歴史と概要、馬具(ゼッケン、鞭など)を展示する。 案②：トレセンの施設見学や馬に親しむ日の開催案内を掲示する。 案③-1：蹄鉄(できればダイヤモンドパイクト等の名馬が実際に装着していたもの)を実際に触れることができる展示物を設置する。 案③-2：オーブニングイベントに騎手(本市出身の武豊騎手など)を招待し、実際に蹄鉄を触って必勝祈願をしてもらう。 ※馬の蹄鉄は、交通安全・金運・魔除けなど、幸運の象徴として縁起物であり、馬のまちのPRと同時に、通天閣のビビケン様のような幸運のシンボルとして、観光スポット化を狙う。 	<p>職員提案検討推進委員会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、KIOSK跡地の利用希望者がおられるため、今回は個々の提案内容についてではなく、体制について議論することとする。 ・各提案を実現させるには、人員・費用・セキュリティの課題が生じる。例えば、利用希望者が当該跡地を利用する条件として、掲示物の陳列や展示物の管理を付すれば、いくつかの課題は解決できる。 ・掲示物等によつては、駅利用者からの質問や問い合わせが想定されるため、負担が生じることを懸念する。 ・跡地の利用希望者の意向を十分に尊重する必要がある。 ・今回は、各提案の主旨について採用することとし、跡地の有効活用に向けては元気創造政策課が調整を図るものとする。 	<p>審査結果</p> <p>＜実施審査＞</p> <p>実施</p> <p>＜検討・推進アクション＞</p> <p>市民政策部 元気創造政策課</p> <p>＜提案者名＞</p> <p>匿名</p>
<p>29-8</p> <p>JR栗東駅KIOSK跡地の活用について(まちかど広報室)</p> <p>＜現状及び問題点＞</p> <p>さまざまな月間や週間にちなんで、駅などで街頭啓発等を実施している所属は多いが、街頭啓発では、時間が極めて限定的であり、駅利用者等に広く啓発が来ていない。</p> <p>＜改善案＞</p> <p>市政情報等の「まちかど広報室」とし、広報課管理のもと各課が取り扱うパンフレットやポスターの掲示などを行う。</p> <p>また、さまざまな推進月間時においては啓発拠点とし、パネル展示なども行う。</p>	<p>職員提案検討推進委員会の意見</p> <p>同上</p>	<p>審査結果</p> <p>＜実施審査＞</p> <p>実施</p> <p>＜検討・推進アクション＞</p> <p>市民政策部 元気創造政策課</p> <p>＜提案者名＞</p> <p>匿名</p>

提案内容	職員提案検討推進委員会の意見	審査結果
29-9 JR栗東駅KIOSK跡地の活用について(まちかど美術展)	同上	<実施審査> 実施
<現状及び問題点> 市民憲章の前段に「緑と文化のまち」と謳われているものの、関係者以外が文化団体や幼児・児童・生徒の作品に触れられる機会がほとんどない。文化祭や美術展のようなイベントではなく、日常の中に文化作品に触れられる場所があるとよい。		<検討・推進セッション> 市民政策部 元気創造政策課
<改善案> 「まちかど美術館」として、文化団体や幼児・児童・生徒の絵画・書道・工芸・生け花等の作品展示スペースを設け、展示団体を募集するなどして定期的に作品展示をしてもらう。 また、作品展示だけでなく、日頃の活動報告や壁新聞の展示もできるとする。		<提案者名> 匿名

職員提案の流れ

○提案の募集

- ・提案については随時受付を行っておりますが、必要に応じてテーマ等を設定し、期間を定めて募集することがあります。



○提案の応募

- ・提案の内容について、ヒアリングを行う場合があります。



○提案に関係する課への意見照会

- ・いただいた提案に関係する課に対して、実現性の有無や課題について意見を求めます。



○職員提案検討推進委員会による審査

- ・委員会は市民政策部政策監、総務課長、財政課長、教育総務課長で構成されています。
- ・関係課の意見も参考にしながら審査を行い、提出された提案への対応方針を定めます。



○市長及び提案者への結果報告

- ・委員会にて審査された結果を市長へ報告します。
- ・提案者に対して結果通知書を配布します。



○総合調整会議・推進計画策定の指示

- ・行政施策または事務事業として採用が適当と認める提案については、総合調整会議に諮り、提案区分と内容に応じて、所管部等に推進計画の策定を指示します。



○結果の公開

- ・審査結果については、グループウェアを通じて公開します（提案者の同意が得られた場合は氏名を公表）。